共通点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00450154	
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査	
調査の名称	特定保険医療材料価格調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
		基幹統計の作成に利用
		基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
		その他
特記事項		

Ⅰ 調査計画との整合性確保等の観点	点検・評価事項等 / 点検・評価項目	調査計画との整合性					不整合が生じている場合の対応状況		
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)				対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
	1 調査の目的	整合		結果の利活用実態		その他（　）			
			（特記事項）						
	2 調査対象の範囲※	整合		調査対象地域		調査対象産業			
				その他（　）					
			（特記事項）						
	3 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等※	整合		母集団情報		抽出方法・抽出基準			
				全数層・抽出層の設定		対象数の算定			
				その他（　）					
			（特記事項）						
	4 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間※	整合		調査票		調査事項			
				調査期日・期間		その他（　）			
			（特記事項）						
	5 報告を求めるために用いる方法※	整合		調査方法		調査系統・組織			
				民間委託の範囲		その他（　）			
			（特記事項）						
	6 報告を求める期間※	整合		調査実施期間(始期・終期)		調査票の提出期限			
				調査の周期		その他（　）			
			（特記事項）						

Ⅰ 調査計画との整合性確保等の観点	点検・評価事項等 / 点検・評価項目	調査計画との整合性					不整合が生じている場合の対応状況		
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、その概要等(選択・自由記入)				対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
	7 集計事項※	整合		未集計		未公表			
				復元推計		その他（　）			
			（特記事項）						
	8 調査結果の公表の方法及び期日※	整合		公表実施時期		公表媒体			
				e-statの掲載		閲覧表			
				その他					
			（特記事項）						
	9 使用する統計基準	整合		独自基準の採用		独自基準の説明			
				その他（　）					
			（特記事項）						
	10 調査票情報の保存期間及び保存責任者	整合		保存期間		保存責任者			
				保存方法		その他（　）			
			（特記事項）						
	11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当		立入検査対象事項		その他（　）			
			（特記事項）						

12 不整合は生じていないものの、改善を検討（予定）している事項	検討（予定）している事項の有無 (選択記入)	検討（予定）している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
	なし				

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

<table>
<tr><td rowspan="8">Ⅱ
必要な精度の確保・向上の観点</td><td rowspan="8">1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況</td><td colspan="4">目安としている指標の設定状況</td><td colspan="3">目安としている指標の具体的推移
(自由記入。別紙も可)</td></tr>
<tr><td colspan="2">精度管理の目安としている指標区分
※該当するものを選択(複数選択可)</td><td>目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等
(自由記入。別紙も可)</td><td>目安としている指標の設定時期
(自由記入)</td><td>今回調査
(又は前回調査)</td><td>前回調査
(又は前々回調査)</td><td>前々回調査
(又は前々前回調査)</td></tr>
<tr><td>○</td><td>達成精度(実績精度)</td><td rowspan="5">調査結果の公平性を担保するため、一定程度のデータ数を確保する必要があることから、客体種別ごとに購入数の多いと考えられる機能区分を選定し、当該機能区分に収載されている特定保険医療材料の購入実績があると回答するであろう客体数の、調査客体数に占める割合（出現率）を基に、標本設計を行う。
標準誤差率が概ね７％（歯科技工所は４％）の範囲内で回答を得られるように設計している。

$C = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{1-p}{np}}$
C：標準誤差率、
N：母集団サイズ、
n：標本サイズ、
p：比率、

<table><tr><td>項目
（客体種別）</td><td>母集団サイズ
（概数）
（N）</td><td>出現率、
（見込み）、
（p）</td><td>集計客体数</td><td>目標回収率</td><td>標本サイズ
（概数）
（n）</td><td>（参考）
令和元年度調査実績回収率</td></tr><tr><td>病院</td><td>8,300</td><td>20%</td><td>690</td><td>60%</td><td>1,150</td><td>53.7%</td></tr><tr><td>一般診療所</td><td>103,000</td><td>30%</td><td>475</td><td>65%</td><td>730</td><td>58.8%</td></tr><tr><td>歯科診療所</td><td>68,000</td><td>35%</td><td>347</td><td>55%</td><td>630</td><td>46.8%</td></tr><tr><td>歯科技工所</td><td>3,700</td><td>90%</td><td>56</td><td>20%</td><td>280</td><td>15.6%</td></tr><tr><td>保険薬局</td><td>60,000</td><td>20%</td><td>850</td><td>85%</td><td>1,000</td><td>81.6%</td></tr></table></td><td rowspan="5">平成27年度調査</td><td rowspan="5">別紙のとおり</td><td rowspan="5">別紙のとおり</td><td rowspan="5">別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>○</td><td>回収率・回答率</td></tr>
<tr><td></td><td>回収標本数</td></tr>
<tr><td></td><td>カバレッジ</td></tr>
<tr><td></td><td>その他</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>設定なし</td></tr></table>

別紙

目安としている指標の具体的推移（過去３回調査）

（単位：％）

	令和３年度調査		令和元年度調査		平成30年度調査	
	目標回収率	回収率（実績）	目標回収率	回収率（実績）	目標回収率	回収率（実績）
病院	60	51	75	54	67	70
診療所	65	66	75	59	72	73
歯科診療所	55	50	70	47	67	63
歯科技工所	20	37	70	16	62	62
保険薬局	80	78	90	82	83	88